

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書 令和6年 5月 23日 都道府県知事 及び 下関市長 殿 提出者 住 所 山口県下関市安岡町8丁目5番1号 氏 名 山口県済生会下関総合病院 院 長 森 健治 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 083-262-2300	
事業場の名称	山口県済生会下関総合病院
事業場の所在地	山口県下関市安岡町8丁目5番1号
計画期間	令和7年度
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	病院
②事業の規模	373床
③従業員数	767名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	発生源(当院) ↓ 収集運搬(両備トランスポート株) ↓ 中間処理(共英製鋼株)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

管理者
平岡 英樹

↓

担当者
岡原 哲平

発生源	
病棟	検査室
外来	薬剤部
手術室	その他
透析室	

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性医療廃棄物	引火性廃油
	排出量	240.659 t	1.011 t
	(これまでに実施した取組) 特別管理産業廃棄物はすべてポリ容器を使用していたが、液体を含む物・鋭利な刃物等以外はダンボールを使用するように変更した。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性医療廃棄物	引火性廃油
	排出量	240.000 t	0.900 t
	(今後実施する予定の取組) 発生抑制を考慮した製品を購入する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 液体を含む物または鋭利な刃物等の医療廃棄物についてはポリ容器を使用し、それ以外はダンボールを使用している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も同上とする。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性医療廃棄物	引火性廃油
	全処理委託量	240.659 t	1.011 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	240.659 t	1.011 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性医療廃棄物	引火性廃油
	全処理委託量	240.000 t	0.900 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	240.000 t	0.900 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 5 月 23 日

下関市長 殿

提出者

住 所 山口県下関市安岡町八丁目5番1号

氏 名 社会福祉法人恩賜財団済生会

山口県済生会下関総合病院

院長 森 健治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 083-262-2300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称 山口県済生会下関総合病院

事業場の所在地 山口県下関市安岡町八丁目5番1号

事業の種類 医療、福祉

特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間 令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	210 t	全処理委託量	210 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度 t
	前年度 253.002 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)	

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

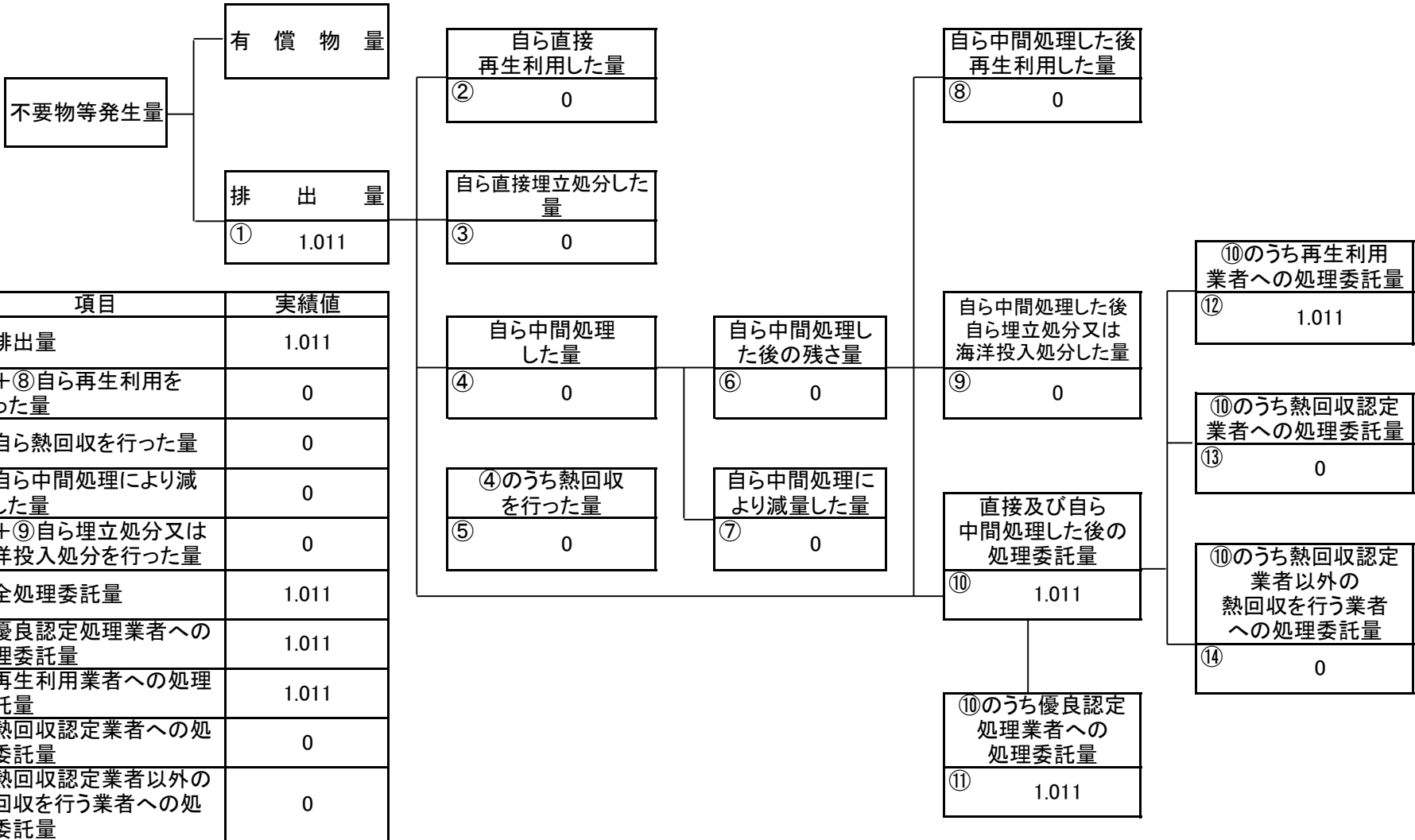
多量排出事業者の特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和5年度実績)

多量排出事業者 名称	社法人済生会恩賜財団済生会 山口県済生会諸岡療科	所在地(市町名)	下関市安岡町	事業の種類	医療・福祉
------------	--------------------------	----------	--------	-------	-------

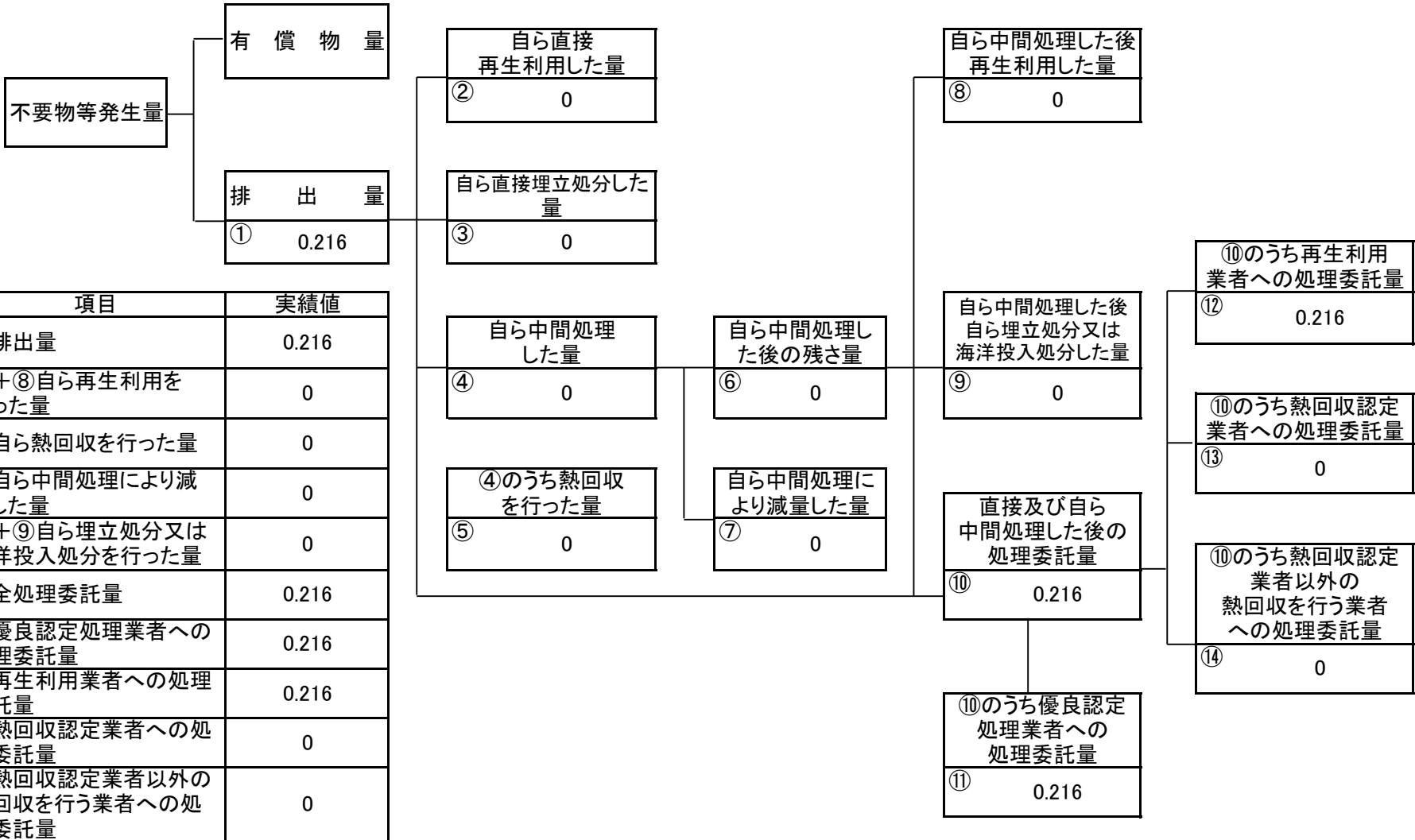
区分	種類	計 画 の 実 施 状 況										⑩のうち再生利用者への処理委託量		⑪のうち中間処理業者への処理委託量		⑫のうち最終処分処理業者への処理委託量		⑬のうち優良認定処理業者への処理委託量		⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		①排出量(t)	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後、再生利用した量	⑨自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち山口県内	⑩のうち山口県外	⑪のうち山口県内	⑪のうち山口県外	⑫のうち山口県内	⑫のうち山口県外	⑬のうち山口県内	⑬のうち山口県外	⑭のうち山口県内	⑭のうち山口県外
		特別管理産業廃棄物	廃油	1.011								1.011	1	1.011	0			0		1.011	
	廃酸	0.216								0.216	0	0.216	0			0		0.216			
	廃アルカリ										0		0			0					
	感染性産業廃棄物	249.659								249.659	250	249.659	0			0		249.659			
	PCB									0	0		0			0					
	PCB汚染物									0	0		0			0					
	PCB処理物									0	0		0			0					
	廃石棉等									0	0		0			0					
	有害産業廃棄物									0	0		0			0					
	計 (B)	251	0	0	0	0	0	0	0	251	251	251	0	0	0	0	0	251	0	0	0

業 績									
①排出量	②+⑧自ら再生利用を行った量	⑤自ら熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑩全処理委託量	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬熱回収認定業者への処理委託量	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
250	0	0	0	0	250	250	250	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
251	0	0	0	0	251	251	251	0	0

計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: 廃油)

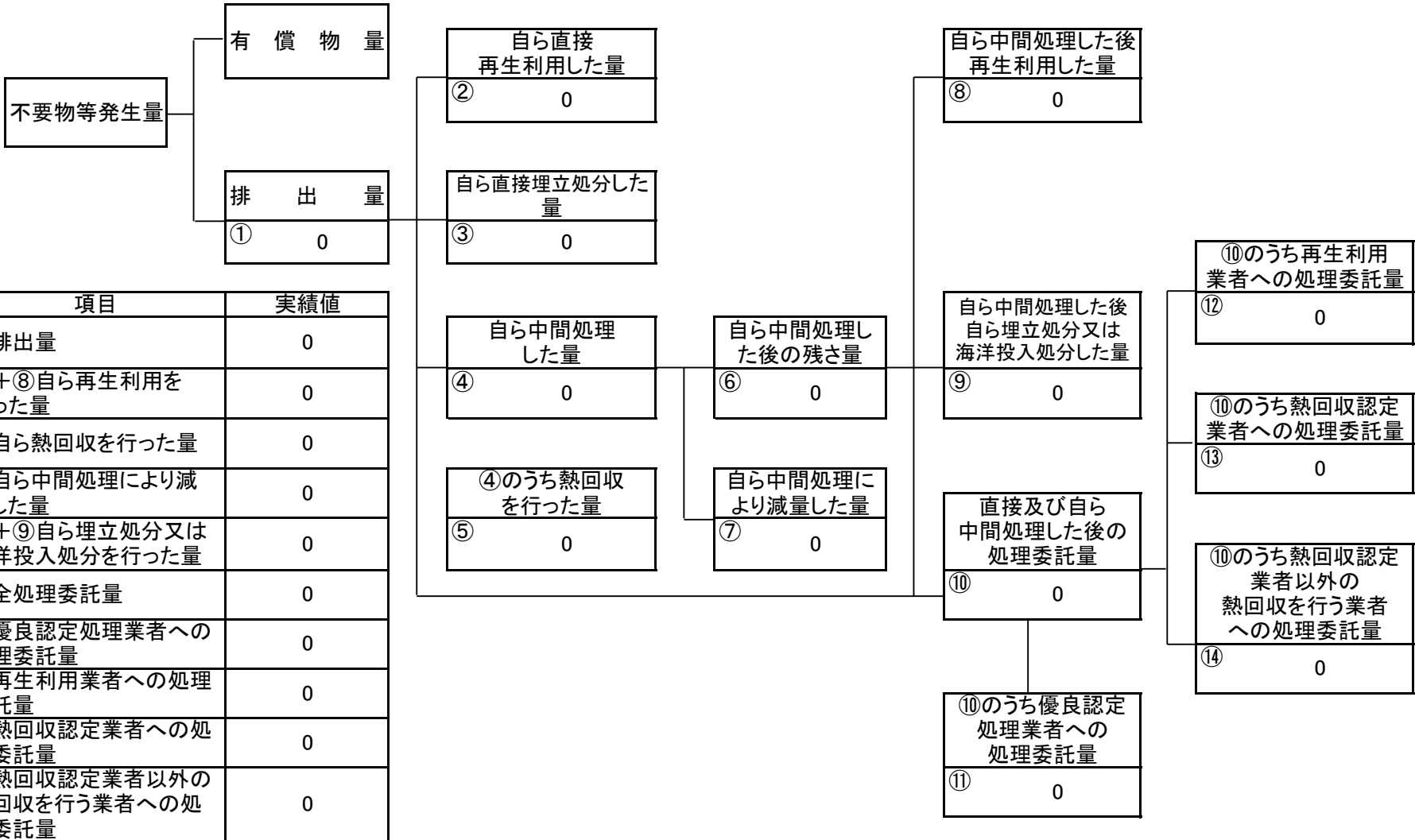


計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: 廃酸)



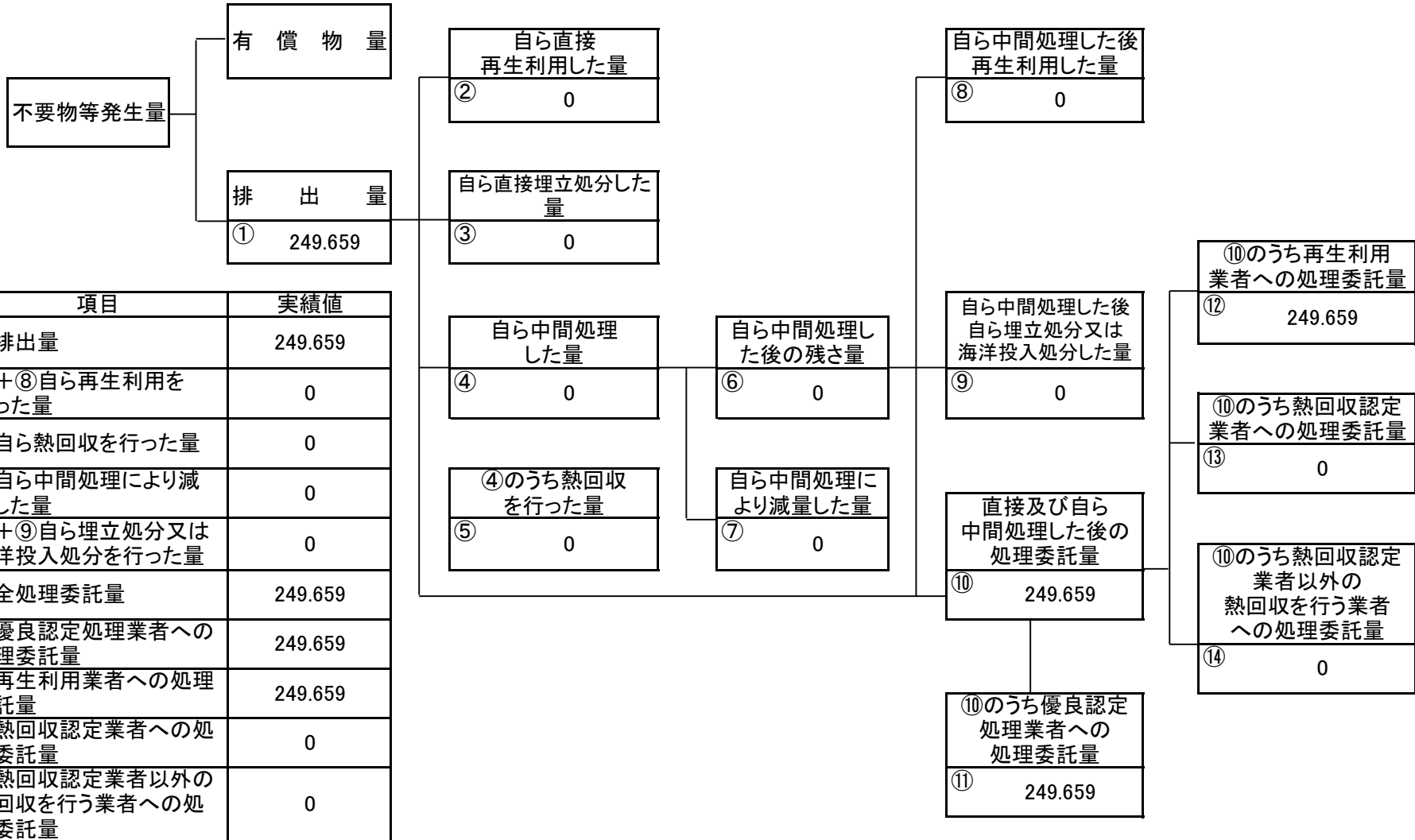
項目	実績値
①排出量	0.216
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.216
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.216
⑫再生利用業者への処理委託量	0.216
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

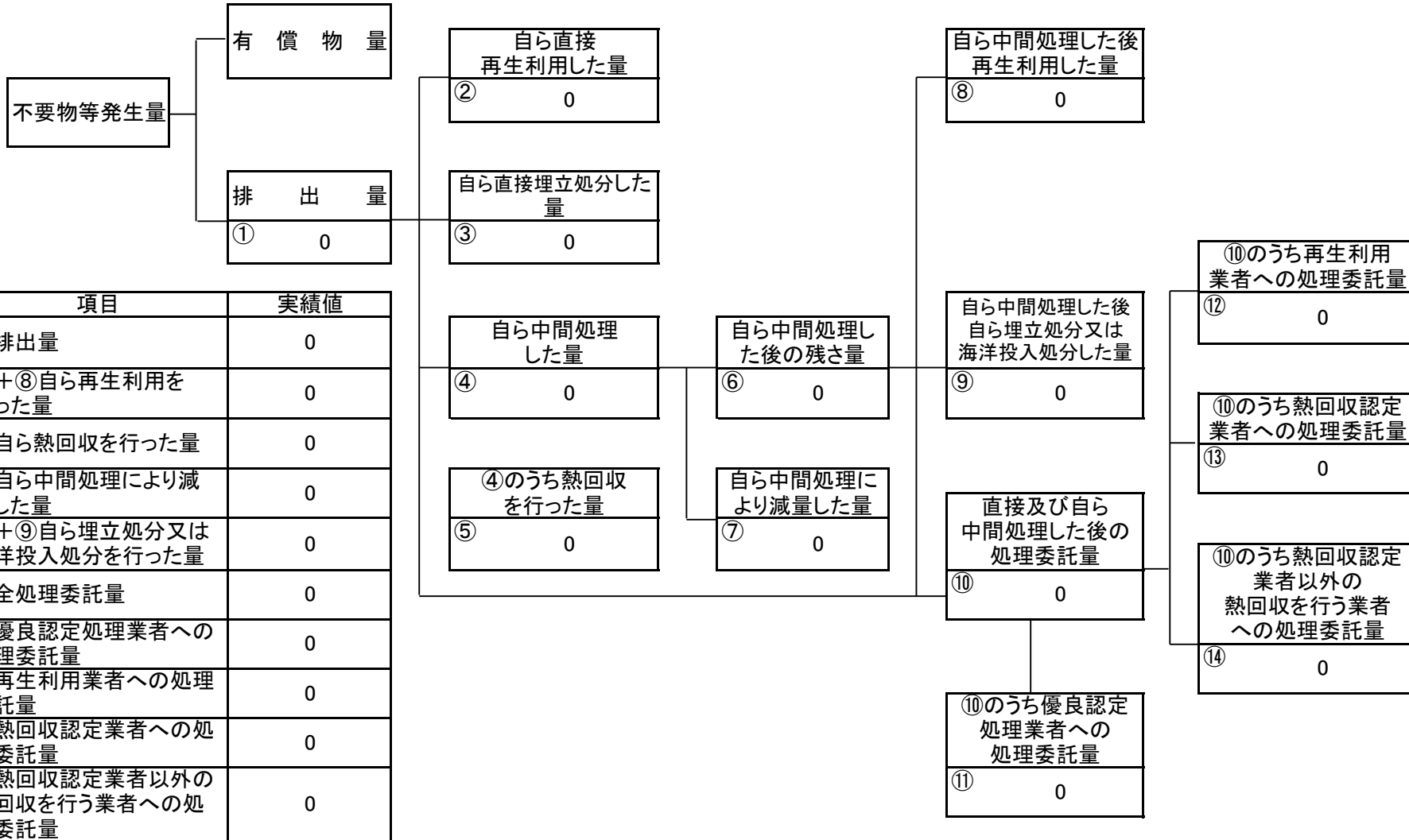


項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

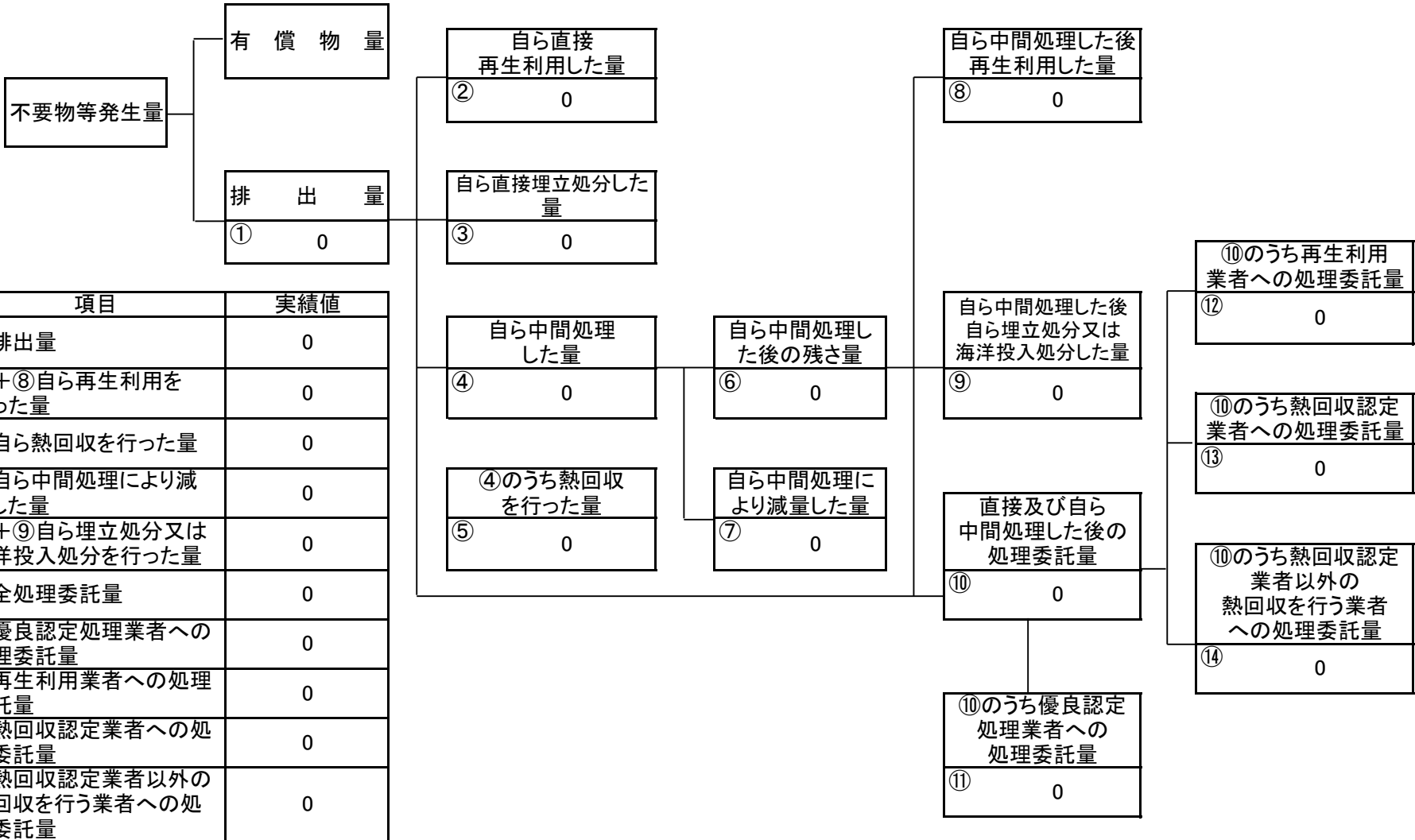
計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: 感染性産業廃棄物)



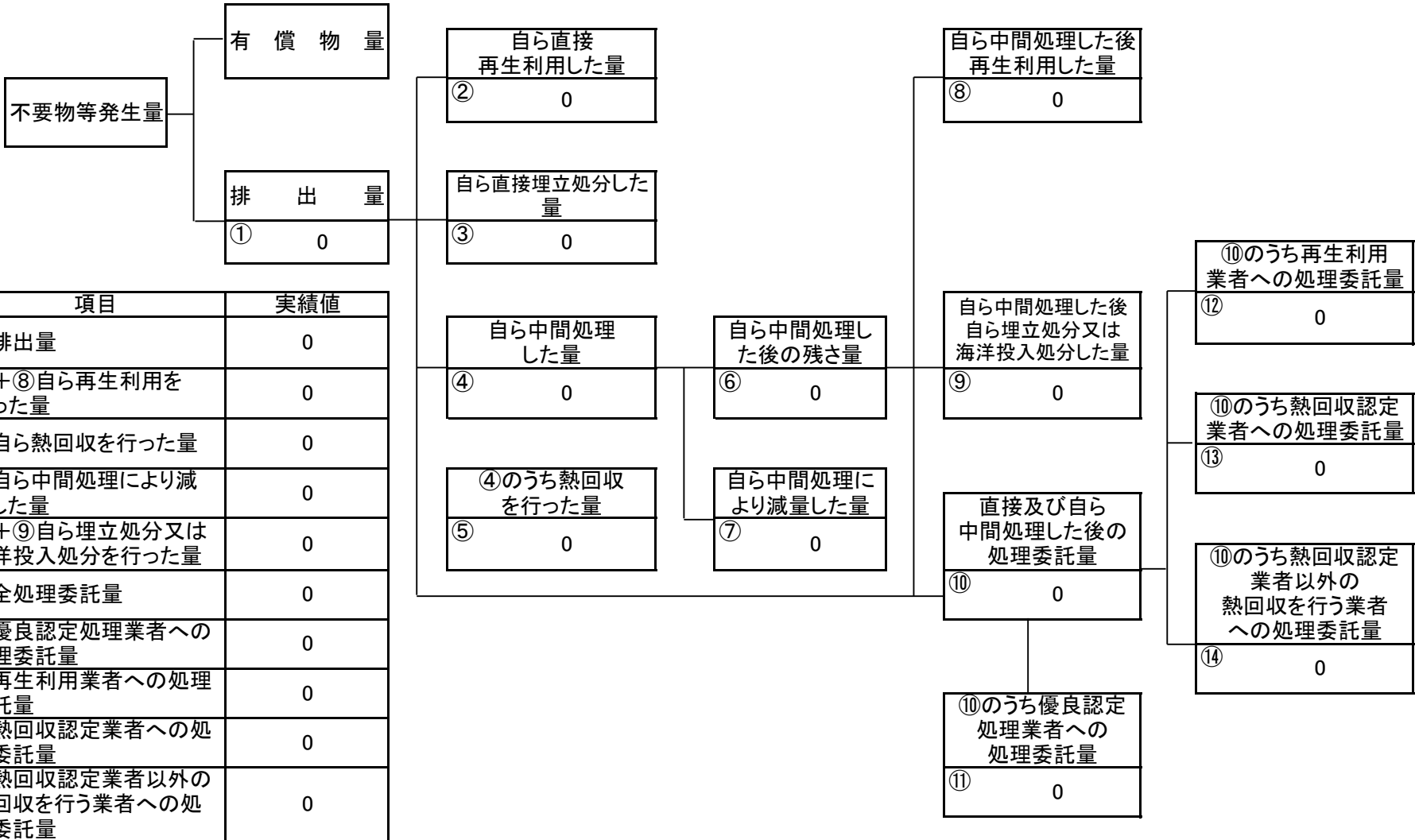
計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: PCB)



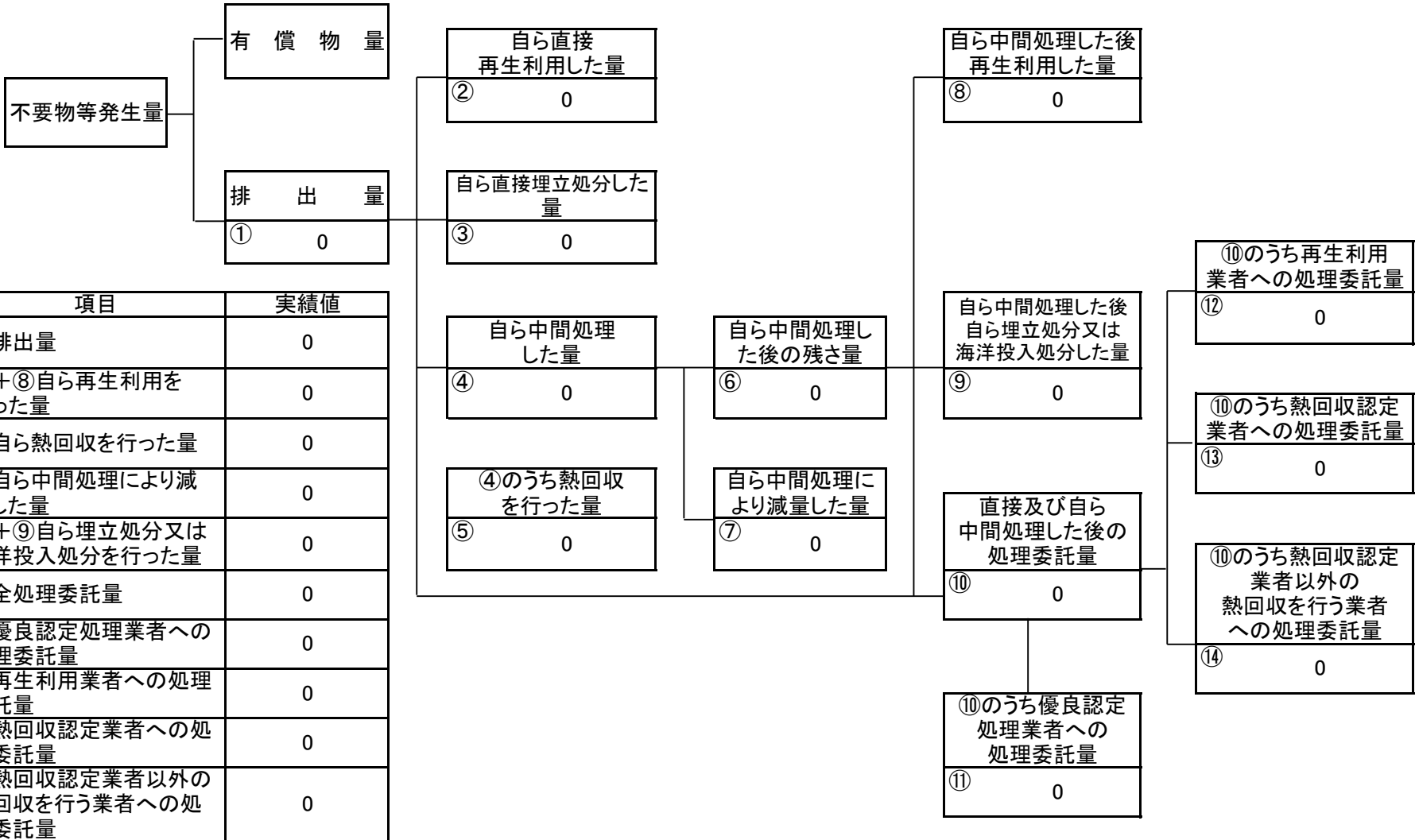
計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: PCB汚染物)



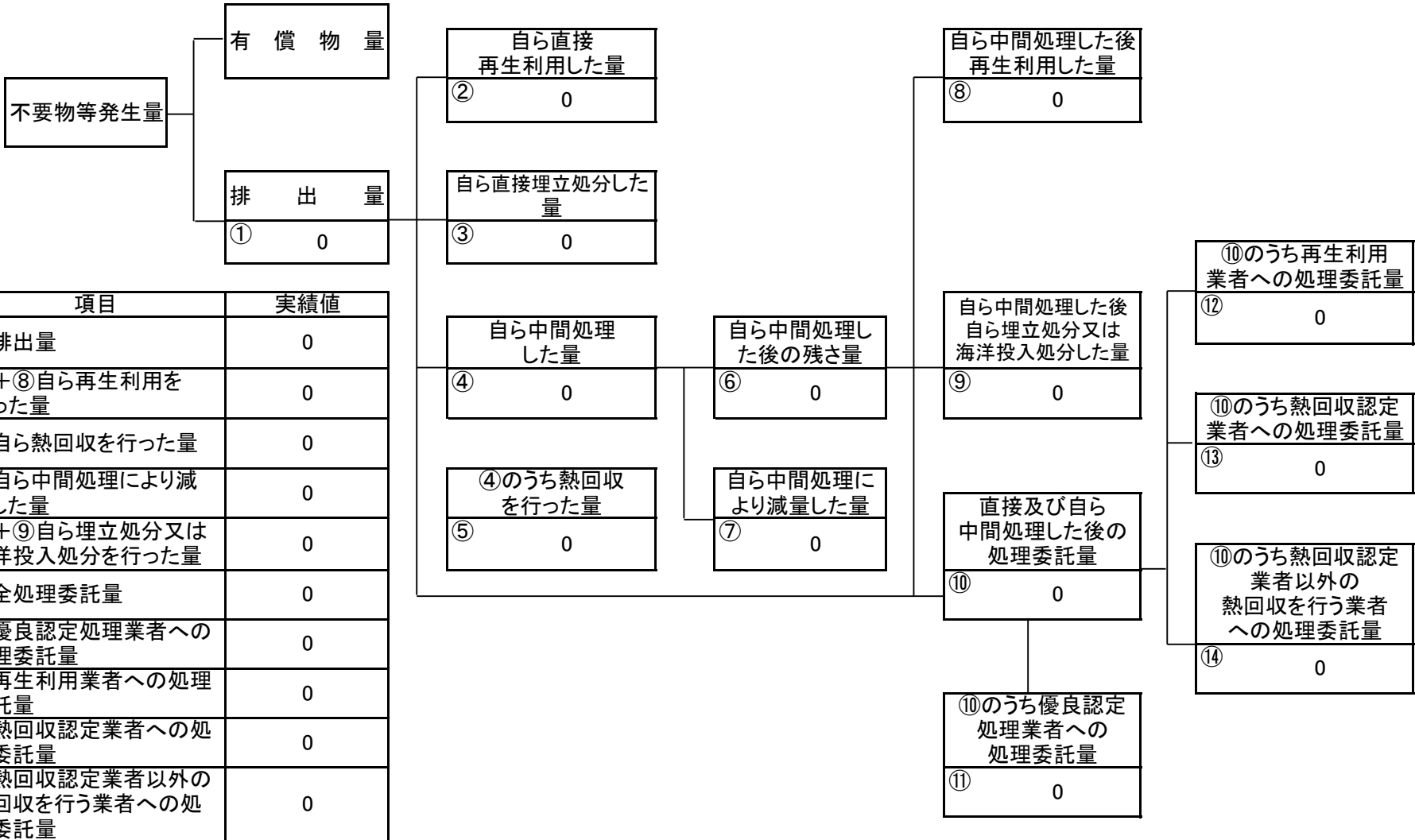
計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: PCB処理物)



計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: 廃石綿等)



計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: 有害産業廃棄物)



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。